

人類の自主偉業の旗じるしであるチュチェ思想の正当さと生命力

ヨーロッパ・チュチェ思想研究学会理事長
エドモン・ジュープ

チュチェ思想は世界的な新型コロナウイルス感染による保健医療危機が生じてからその正当さと生命力をさらに誇示しています。

チュチェ思想は、朝鮮労働党の建設と活動、そして党員の中で提起されているすべての問題を解決するための科学的な方途を明示する思想的・理論的武器であります。

労働者階級の党がその隊列を強固にし、革命と建設を成功裏に推し進めるためには、人間を中心にはすえなければなりません。

人民大衆は党と領袖の指導を受けてこそ、革命の主体としての地位を占めることができます。

領袖は人民大衆の最高脳髄であり、統一団結の中心であります。

党は領袖の思想と指導を実現するための政治組織です。

党は、領袖の思想と指導を離れて革命と建設を成功裏に導くことができません。

領袖、党、人民大衆が一体をなしてこそ革命の威力ある主体になります。

2021年1月5日から12日の間、朝鮮労働党の総書記であり、朝鮮民主主義人民共和国の国務委員長、朝鮮民主主義人民共和国武力の最高司令官である金正恩同志の指導の下に8回大会がおこなわれました。

金正恩総書記は朝鮮労働党中央委員会の活動報告において、社会主义建設の画期的前進をもたらすための新たな闘争路線と戦略的・戦術の方針を打ち出しました。

報告では困難かつ複雑な対内外の情勢の中で経済活動をはじめとする各分野の活動に深刻な欠陥が現れたと指摘しました。

朝鮮労働党は始終一貫チュチェ思想とその理念に依拠してきました。それがゆえに、朝鮮労働党は、共産主義運動の歴史上初めての、新しいタイプの革命的党となるのです。

金正恩総書記は、それが金日成主席のもっとも輝かしい業績であると述べました。

朝鮮労働党は、近代的な総合病院を建設するよう指導しており、国家は年取

った人々を世話するために積極的な政策を施しています。

2020年7月27日に開かれた第6回全国老兵大会で、金正恩総書記は、朝鮮労働党は革命の大先輩を誇りに思い、尊敬していますと述べました。

金正恩総書記は、朝鮮労働党が人民の利益を守るために、官僚主義と不正腐敗行為に反対する妥協のない闘争を繰りひろげてきたと述べました。

朝鮮労働党は、新型コロナウイルスのよって生じた諸問題にたいして腕をこまぬいて傍観したのではなく、重大な措置を講じました。

チュチェ思想は世界の自主化と平和をもたらすための闘争の旗印であります。

こんにち、金正恩総書記によってチュチェ思想はよりいっそう発展豊富化しており、朝鮮革命と自主時代の指導思想として変わりなく光を放っています。

チュチェ思想は今、人民大衆の運命開拓の根本的方途、国家と民族の自主的発展と富強繁栄の道、そして世界自主化の道を示す思想として世人の共感と支持を呼び起こしています。

それゆえ、金日成・金正日主義を研究し普及することは、チュチェ思想の研究者にとってもっとも重大な課題として提起されるのです。